

平成23年度

登録左官基幹技能者認定試験問題解答 (60分)

東北ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 (四肢択一法)

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 建設技能就業者の実態に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業就業者数は、平成 9 年では 517 万人であったものが、平成 21 年には 685 万人に増加した。
2. 建設業の技能労働者数は、平成 9 年では、455 万人であったものが、平成 21 年には 342 万人に減少した。
3. 建設業就業者数は、55 歳以上が 33%、29 歳以下が 13%と高齢化が進行しており、次世代への技能承継が大きな課題となっている。
4. 建設業界は、技能者のレベルを反映した賃金や処遇の改善をおこない、技能労働者が安心して生涯を託せる労働環境を実現する必要がある。

問題 2 登録基幹技能者の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事で生産性の向上を図り、品質、コスト、安全面で質の高い施工を確保するためには、職長等の果たす役割が重要である。
2. 基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を持つとともに、現場をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者である。
3. 基幹技能者は、専門工事業団体（例えば、社団法人日本左官業組合連合会）の資格認定を受けたものである。
4. 基幹技能者は、ゼネコンの現場監督として、計画・管理業務を行うことが期待されている。

問題 3 基幹技能者の必要性に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設産業における生産活動では、「労働集約的な産業構造」を特性とすることから、直接生産活動に従事する技能労働者の果たす役割が重要である。
2. 建設業では、急速に進む少子高齢化社会の中で、建設投資の減少基調が続き、若年労働者の入職が増加している。
3. 限られた労働力の中で効率的かつ経済的な建設工事を実施するためには、建設現場での品質・コスト・安全面で質の高い施工を実現できる優秀な技能者の確保・育成・活用が必要である。
4. 建設現場では、技術者に対して適切な施工方法や作業手順について「提案・調整」を行える技能と技術を結ぶ新たな役割を担う「登録基幹技能者」の育成・活用が必要である。

問題4 登録基幹技能者の役割に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場の状況に応じた施工方法等の提案・調整
2. 現場の作業を早く行うため、できるだけ多数の技能者を配置し、作業手順をその場で変更・指示
3. 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示・指導
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡・調整

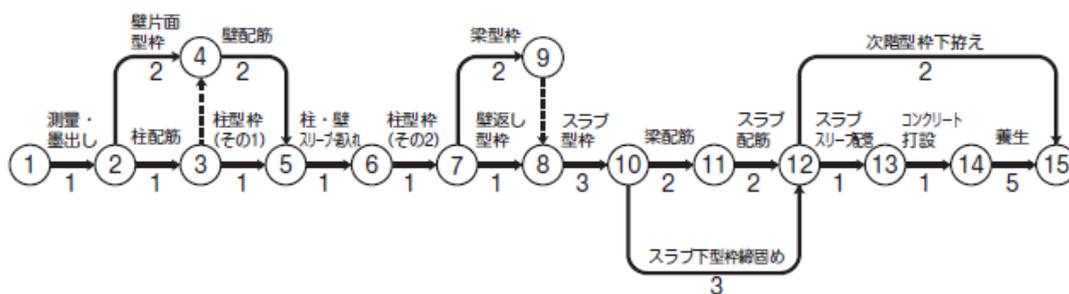
問題5 OJT 教育における目標の設定に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 講習会や研修会を通じて行う指導・教育が可能であること
2. 部下が意欲をもって取り組めるものであること
3. 目標は定量的で具体的であること
4. 目標は設定期間終了時に評価が可能であること

問題6 OJT の指導事例に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 言葉づかい
2. 現場内のきまり
3. 普段着の服装
4. 後片付け

問題7 次のネットワーク式工程表において、最も不適当なものはどれか。



「ネットワーク式工程表の例」

1. このプロジェクトの、工期は、23 日である。
2. ③→⑤が 4 日間に変更になったときのクリティカルパスは、24 日である。
3. -----> この点矢線は、ダミーを示し作業はない。
4. 工程表の○印の中の数字は、作業日数を示したものである。

問題 8 建設業法の事例に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下請工事に関して、追加工事または変更工事が発生したが、元請負人が口頭による変更契約を行わなかった場合、建設業法上の違反となる。
2. 下請工事に係る追加工事等について、工事に着手した後または工事が終了した後に書面により契約変更を行った場合は、建設業法上違反となる。
3. 下請負人に対して追加工事等の施工を指示した元請負人が、発注者との契約変更手続きが未了であることを理由にして、下請契約の変更に応じなかった場合は、建設業法上違反となる。
4. 下請負人の責めに帰すべき理由がないにもかかわらず、下請工事の工期が当初契約の工期より短くなり、残された工期内に工事を完了させるため労働者の増員等が必要となった場合に、下請負人との協議にも応じず、元請負人の一方的な都合により変更の契約締結を行わなかった場合は、建設業法上違反となる。

問題 9 建設工事標準下請契約約款において、契約締結後遅滞なく書面をもって通知する事項に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 作業主任者の氏名
2. 雇用管理責任者の氏名
3. 安全管理者の氏名
4. 工事現場において使用する一日当たり平均作業員数

問題 10 ブレーンストーミング(BS)の手法を用いて行う場合に関して、最も不適当なものとはどれか。

1. BS のルールでは、他人の意見を批判しない、量を出すことが優先されることから、安心して誰もが自由にアイデアを述べることができる。
2. BS は、7～8 人程度の少人数の集団で、ある人の意見やアイデアに関して他の人たちが連鎖反応を示し、多彩・豊富・独創的な考え方を引き出す働きがある。
3. BS におけるアイデアや意見に関する連鎖反応は、チーム全体の楽しさや競争心を生み出すことにつながっている。
4. BS のメンバーは、専門家、ゼネラリスト等で構成し、他分野の専門家は入れないほうが良い。

問題 1 1 仕様書に組合せに関して **最も不適当なもの**はどれか。

1. 日本左官業組合連合会編 - 左官施工法 2008
2. 特記仕様書 - 標準仕様書で指示する一般的工事の仕様を記載
3. 日本建築学会編 - 建築工事標準仕様書 JASS 15 (左官工事)
4. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 - 公共建築工事標準仕様書

問題 1 2 左官工事に要求される品質管理に関して **最も不適当なもの**はどれか。

1. 仕上げ面は、平坦であること(真壁についていえば、ちりがそろっていること)。
2. 仕上げ面の状態は、全壁面に関して一様であること。
3. 仕上げ面は、厚さが大きいほどよい。
4. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能は、備えていること。

問題 1 3 塗り壁の故障の組合せに関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 上塗りの富調合 - はく離・ひび割れ - 下塗り材料を貧調合とする。
2. 不純物を含む砂 - 強度不良・ひび割れ - 洗浄・取り替える。
3. 目地処理不足 - 付着不良 - 目地処理を充分行う。
4. さび止めしない鉄部 - さび発生 (せっこうプラスター) - さび止めを行う。

問題 1 4 劣化のメカニズムの記載に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

熱冷ムーブメントとは、塗られたモルタル等に 1. 太陽の直射熱や昼と夜の 2. 繰返しの乾燥と湿潤に伴って 3. 伸縮、反り等の変形挙動がおきる。これを 4. サーマルムーブメントという。

問題 1 5 外壁の雨掛かりを低減する配慮に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 霧除け庇は、設ける。
2. 外周部は、砂利敷きにする。
3. 構造材は、未乾燥材を用いる。
4. 平面、断面形状は、シンプルなものとする。

問題 16 ラスモルタルの評価基準の組合せに関して、最も不適当なものはどれか。

1. ラス下地板 - 厚さ 12mm 以上 - ステープルを 100mm 以内で留めつけられる間隔
2. ステープル - 1016J 以上留付け - 100mm 以内
3. 防水紙 - アスファルトフェルト 20 kg/巻 - 重ね 90mm 以上
4. ラス - 波形 1 号 - 重ね 50mm 以上

問題 17 コンクリート表面の処理方法の組合せに関して、最も不適当なものはどれか。

	処理方法	適用目的	概要	留意点
1.	高圧水洗浄	目粗し、脆弱層の除去	高圧水洗いの吐出圧力 50～150N/mm ² 、吐出圧と運行速度はコンクリート強度、材質による。	必要な粗さを設定でき、作業者によるばらつきが少なく、施工管理が比較的容易。下階へ水対策を検討する必要がある。
2.	サンダー掛け	目粗し、脆弱層の除去	ディスクサンダーあるいはワイヤブラシによってコンクリート表面を目粗し、水洗いにより表面に付着した粉塵を除去する。	特別な工具を必要とせず作業は簡易。埃や音の発生がある。施工のばらつきがない。
3.	ブラシ掛け	清掃、脆弱層の除去	デッキブラシあるいはワイヤブラシによりコンクリート表面を擦り、塵埃や脆弱層を除去する。	作業は簡単だが、施工管理が曖昧となりやすい。水洗いを併用する。
4.	専用シートによる凹凸処理	コンクリート表面への凹凸付与	ポリエチレンフィルム製専用シートを型枠に取り付け、コンクリート表面への凹凸付与し、それがモルタル食い込むことにより、はく離を防止する。	専用シートの廃材が発生するため、その処理対策を講じておく必要がある。

問題 18 ALC パネルの記載に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ALC パネル下地は、工場でオートクレイブ（高温・高圧養生）した超軽量コンクリートパネルである。
2. ALCパネルの欠損部の補修には、パネルメーカー仕様による、補修用モルタルを使用する。
3. ALCパネルは、左官塗りの下地として、コンクリートに比べ吸水性が大きいので、厚手の左官塗りを行う。
4. ALCパネルジョイント部は、パネル取付け構法に応じた所定の位置や、出入隅部、他部材との取合い部にも伸縮目地を設ける。

問題 19 建設工事の特色と施工管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事は、目的物が土地の上に固着して作られることから築造されたものは互換性が無く、不良なものの処置がしにくい。
2. 降雨、出水、土質など天候・自然現象の不確定な事柄に左右される。
3. 建設工事は受注生産で個々の工事は一つ一つ特徴があり異なったもので、大量見込み生産ができない。
4. 建設業は、建設する目的が同じことから、企業格差が他の産業より小さい。

問題 20 仮設備に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仮設備は、工事の目的とする構造物でなく臨時的なものであって、工事完成後原則として取り除かれるものである。
2. 仮設備は、本工事と異なって、施工業者の技術と工夫により計画されるものであって、工事規模及び施工条件等に影響されない。
3. 仮設備という呼び方につられて、手を抜いたり、おろそかにしたりすると事故の原因となり、かえって多くの費用が必要となる場合もある。
4. 仮設備は、使用目的、使用期間等に応じて、強度計算を行い、労働安全衛生規則に基づいた計画を立てなければならない。

問題 2 1 建設工事における環境関連法令に関して、最も不適当なものはどれか。

1. PCB 廃棄物の処理を行う場合、PCB 廃棄物特別措置法が適用される。
2. 再資源が可能な土砂及び砕石等を取り扱う場合は数量に関係なく資源有効利用促進法が適用される。
3. 特定建設資材を使用または取り扱う場合は、建設リサイクル法が適用され、発注者による届出が必要となる。
4. 廃棄物焼却炉の解体作業は、ダイオキシン類ばく露防止対策要綱が適用される。

問題 2 2 コンクリートに発生するクラック防止に関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートのひび割れは、急な気温の変化に影響されないよう、シート等で養生する。
2. 基礎部分など大断面のコンクリート構造物は水和反応による熱が大きくなり、収縮クラックが発生しやすい為、大断面とならないよう、分割して打設することが望ましい。
3. 柱、梁よりも断面が小さい壁はクラックが発生しやすい為、適度に誘発目地を配置する。
4. 一般的に壁に取り付ける誘発目地は、柱からできるだけ離して配置する。

問題 2 3 建設業における労働災害に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の労働災害による年間の死傷者数は、昭和 50 年代前半の 10 万人前後から徐々に減少し、平成 21 年には約 2 万 1 千人に減少している。
2. 建設業の労働災害による年間の死亡者数は、昭和 50 年代前半は 1,500 人前後から徐々に減少し、平成 21 年には 371 人に減少している。
3. 近年の建設業の労働災害による年間の死傷者数は、全産業の 20%前後である。
4. 近年の建設業の労働災害による年間の死亡者数は、全産業の 15%前後である。

問題 2 4 ハイน์リッヒの法則に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ハイน์リッヒの法則は、比較的新しい考えであり 1980 年に提唱された法則である。
2. ハイน์リッヒの法則は、1 件の重大災害が発生する背景に 29 件の軽傷事故と 300 件のヒヤリ・ハットした傷害のない災害があるとされる。
3. ハイน์リッヒの法則は、アメリカの技師ハイน์リッヒが労働災害の事例を分析して導き出したものである。
4. ハイน์リッヒの法則は、災害が起きたら再発防止を行えば良い、というより予防的な取り組みが重要であることを説いている。

問題 2 5 労働安全衛生マネジメントに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働安全衛生マネジメントに関する指針は、平成 11 年に制定され、平成 18 年にその改正があった。
2. 労働安全衛生マネジメントでは、安全衛生に関する方針を表明する必要がある。
3. 労働安全衛生マネジメントでは、安全衛生に関する目標設定の必要はない。
4. 労働安全衛生マネジメントでは、危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置が必要である。